

患者の皆さまへ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)
この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
尚、研究又は他の研究機関への患者さんのデータ提供は、研究実施許可日から研究終了日の期間に行います。

記

研究機関名	市立豊中病院
研究実施許可日	2024年12月31日
研究終了日	2027年 3月31日 まで
研究の名称	直腸癌術後吻合部狭窄の検討
研究対象	当院で2018年1月から2023年12月に直腸癌手術を施行された患者さん
対象材料	診療記録
対象期間	2018年1月から2023年12月
研究の目的意義	直腸癌術後の吻合部狭窄は便秘や腹部膨満、排便障害を来としQuality of life (QOL)低下の原因となります。本研究は直腸癌術後の吻合部狭窄を来す危険因子を明らかにすることを目的とします。
方法	直腸癌手術を施行された方を対象に、術前治療や手術所見から、吻合部狭窄の危険因子を同定します。
個人情報の取り扱い	個人情報は院内で取り扱い、匿名化等により院外には出しません。
問い合わせ先 (研究責任者)	市立豊中病院 消化器外科 萩原 清貴 TEL06－6843－0101